

令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和2年3月19日

学校法人福丸学園

認定こども園武岡幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・健康で元気な子ども
- ・相手のことを考え、友だちとなかよく遊べる子ども
- ・よく見たり考えたりして、意欲的に創造する子ども
- ・自分で考え、行動できる子ども
- ・明るく素直で、情操豊かな子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂を踏まえ、一人一人の幼児を大切に
した質の高い教育の実践を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	理由
1	園児一人一人の理解に努め活気に満ちた楽しい学級経営を行う	A	あいさつやスキンシップ、笑顔で優しい声かけを意識して子どもとの関りを深めている。
2	園児のけが防止や安全対策に努める	A	毎月の安全点検、避難訓練を実施している。感染症予防のための消毒等に気を付けた。
3	園の教育課程を踏まえて園児の実態にあった教育・保育を実施する	B	月案、週案等で教育課程の具現化を図ったが、教材研究が不十分な点がある。園児のその日の様子に合わせながら保育計画の見直しを行った。
4	教育・保育の質の向上のために、研修を充実させる	B	研究保育を通して、保育の向上を図った。多くの研修会への出席があったが、その内容について共通理解の場がなかった。
5	園児が気持ちよく活動できるように環境整備に努める	A	トイレは常に清潔であるように心がけている。季節に合わせた教室・壁面設営に取り組んだが、新しい工夫をあまり取り入れることができなかった。
6	家庭との連携を密にし、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	A	保護者との懇談会や毎日の連絡帳、登降園時に保護者と直接会う機会を通して情報交換を行った。出された意見に対して、必要なものには園の考えを示し、改善すべきもには改善するように取り組んだ。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	6つの評価項目について重点的に取り組んだ、取り組むべき課題を全職員が理解し、一人一人の幼児を大切にされた教育・保育を実践することができた。また、職員自己評価、保護者アンケートを通して、本園としての課題も明らかになり、今後のさらなる質の向上に努めたい。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアルを職員間で共通理解するとともに、避難訓練等を通して実際場面でしっかり機能するか検証し改善を図る。
2	特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、関係機関との連携をどのようにするか検討する。
3	研修	園の状況に合った研修計画を作成するとともに、園外研修で学んだことを全職員に還元できるようにする。

6. 学校関係者評価委員会の評価

子どもたちが元気に楽しそうに過ごしている姿がまず目につく。保育者が子どもたち一人一人にしっかりと寄り添っていると感じられる。保護者アンケートも実施しており、保護者の願いや要望を把握しながら保育を行っている。今後も、子どもたちの実態に応じた適切な保育を継続してもらいたい。